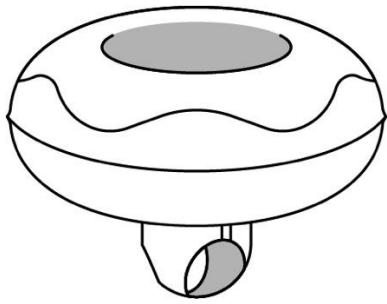


Injury Alert (傷害速報)類似事例

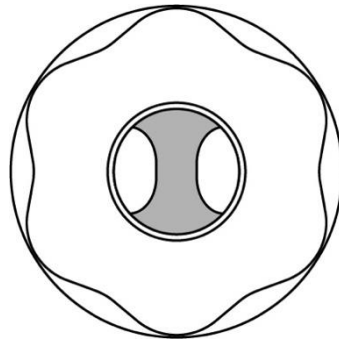
浴槽でこども用浮輪を使用中に発生した溺水（No.4 浴槽用浮き輪による溺水、No.18 解決したはずの浴槽用浮き輪による溺水（2009 年 3 月，10 月の 2 例）の類似事例 5）

事例	基本情報	年齢：0 歳 11 か月 性別：男児 体重：9.1kg 身長：不明
	家族構成	母(23)、母方祖母、曾祖母 母は軽度知的障害があり、出産の退院時に地域保健師に情報共有が行われた。育児支援のために、母方祖母と同居している。
	発達・既往歴	なし
臨床診断名		溺水、誤嚥性肺炎、RS ウイルス気管支炎
医療費		入院 713,100 円
原因対象	対象名称	パンツ型こども用浮き輪
	入手経路 使用状況	祖母が母を養育していた際に、入浴時に浮輪を使用していたので、母も入浴用として販売されている本製品(新品)を通信販売にて購入した(図 1)。本児の定額以降、毎日の入浴に使用していた。
発生状況	発生場所	自宅浴室
	周囲の人 周囲の環境	母と一緒に入浴しており、祖母は居間にいた。出産後は、母と祖母と一緒に入浴をさせていたが、その後は母が一人で入浴させていた。
	発生年月日	2022 年 8 月 X 日（月） 午後 3 時 00 分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	発生当日は母が一人で本児を入浴させていた。浴槽には浮輪を装着してつま先が付く程度の水位で湯を張っていた。母が着替えを取りに行くため浴室を 1 分ほど離れ、戻ってみると浮輪が反転し、本児は浴槽内に沈んでいた。抱き上げたところ開眼はするものの顔色が不良であり、反応も乏しかったため救急隊を要請した。医療機関へ搬送となった。

医療機関受診時 以降の治療経過 転帰	医療機関到着時のバイタルサインは、SpO₂ 98%(室内気)、チアノーゼを認めず、呼吸回数 36 回/分、心拍数 136 回/分、体温 37.7 度、意識は清明であった。診察時の胸部聴診上呼気性喘鳴と水泡音を認めた。数日前より湿性咳嗽があり RSV 抗原陽性であった。胸部 X 線検査で肺門周囲を中心に浸潤影を認めた(図 2)。病状が感染によるものか溺水に起因するか不明であったことから小児一般病床で入院経過観察とした。入院後 SpO₂ 93%と低下し、喘鳴が持続したので酸素投与、β₂ 刺激薬吸入とメチルプレドニゾロンの静脈投与を開始した。X+1 日以降も発熱が継続し、血液検査を再検査したところ CRP は入院時の CRP 0.37mg/dL から 5.46mg/dL まで上昇していた。誤嚥性肺炎を考慮してセフメタゾールを開始した。X+1 日におこなわれた胸部 CT 検査にて両肺野の浸潤影とスリガラス様所見を認めた(図 3)。RS ウイルス感染による所見の可能性も否定はできなかったが、溺水による誤嚥性肺炎、肺水腫の可能性もあると判断した。抗生剤投与後には速やかに解熱し、7 日間の投与で終了した。酸素投与と吸入療法は 9 日間、メチルプレドニゾロンは 4 日間実施した。 自治体の保健センターに連絡して家庭環境の確認と家庭訪問を事前に行ってもらった。また、母および祖母へ家庭内事故の危険性について説明をし、X+13 日で退院とした。入院中明らかな神経学的異常を認めず、神経学的後遺症はないと判断し外来経過観察とした。外来通院中に本児の状態に変化は認められなかった。保健師の家庭訪問が毎月実施されていることを確認できたので、受傷から 2 か月で通院を終了とした。
キーワード	パンツ型こども用浮き輪、溺水、誤嚥性肺炎



＜横から見た図＞



＜上から見た図＞

図 1. パンツ型こども用浮輪



図 2. 入院当日胸部 X 線検査

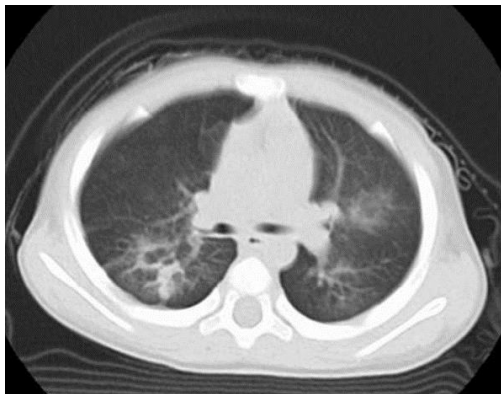


図 3. 入院翌日の胸部 CT 検査
両肺野に浸潤影が認められる